

校長だより

令和二年九月十七日

山岸和田市立北中学校 松下孝徳

先週、九月九日(水)十日(木)十一日(金)の三日間、修学旅行に行ってきました。例年の修学旅行と違い、今年はずさんのハードルをクリアしなければなりませんでした。周りでは修学旅行自体を中止にする地域もある中、山岸和田市においても約半分の学校が泊りに縮小することになりました。(今後増えてくるかも知れません)新型コロナウイルスの影響はすさまじいものです。その様相中で北中学校職員一同は日々生徒たちの思い出と絆を第一に考え取り組んでまいりました。岸和田市からの中止要請が限り限り、修学旅行を止めることも縮小することもしないという考えの下、感染防止対策の徹底とそれに関する準備の徹底、全てのケースに応じた対策を日々検討しました。実施の前々日には台風十号が長崎を直撃をし、高速道路が通行止めになり、延期の可能性まで出てきました。ギリギリになくて何とかすべての施設、交通の安全を確保し、修学旅行の実施に踏み切りました。

三日間終えてみて、本当に三年生は素晴らしかったです。タイムテーブル通りの行事の進行、各施設では何のトラブルもなく、逆にお褒めの言葉をいただくこともありました。

特筆すべきは二日目の班別自主研修でした。渋滞の関係でスタートが半時間ほど遅れていたのに、ゴール予定時刻の1分前には全グループがそろっていました。きっと各班の中にきちんと時間をコントロールできる人がいて臨機応変に調整をしたからだと思います。今後経験する様々な行事を、今回の参加できなかった仲間とともに素晴らしきものにする力を持てる学年だと確信した修学旅行でした。

全校集会では修学旅行の話を披露する中で、一・二年生に三年生の先輩が魅せてくれた時間をコントロールすることができたことを伝えられました。

修学旅行をして良かったと思います。修学旅行が実現できたのは保護者の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。引き継ぎ生徒の思い出と絆の為に様々な行事を職員丸となって全力で取り組んでいます。